

## JGN II イベント利用報告書

イベント番号(イベント-039)

提出日	年	月	日
-----	---	---	---

### (1) イベント名

津波に関するシンポジウム・IT 戦略本部デモ

SOI Asia Sharing Knowledge Across Borders - Tsunami: Lessons Learned and Universities' Role -

### (2) イベント概要

(イベントの概要について、目的・内容・出席者・利用方法等について記入してください。)

本シンポジウムは、SOI Asia 遠隔教育基盤を利用して、各地からの遠隔参加という形態で実施され、第 1 部は各地からのレポート、第 2 部はディスカッションという 2 部構成となっています。

2004 年 12 月 26 日に発生したスマトラ沖大地震・インド洋大津波は、タイやインドネシアなど、パートナーのいる地域が被災地となりました。被災国の大学は、様々な分野の調査・研究活動を行い、地域の復興や今後の防災などに重要な役割を担っています。また、自然災害の多い日本も、多くの経験・知見を蓄積しており、アジア被災地域の復興と防災への貢献に大きな期待が持たれています。そこで、SOI Asia プロジェクトでは、アジア地域にまたがるインターネット基盤と人的ネットワークを活用して、本シンポジウムを開催し、

(1) 様々な分野の調査・研究活動事例等をアジアの中で広く共有する

(2) アジアの大学の知見を集約し、将来に役立てる

といった具体的に大学が担うべき役割を実施していくための議論を行います。

主要参加者(パネリスト)

- 三田 - 慶應義塾大学総合政策学部 金子郁容教授、環境情報学部 村井純教授
- 東北 - 東北大学大学院工学研究科 今村文彦教授
- AIT - チュラロンコン大学 Dr. Anat Ruangrassamee、Dr. Panitan Lukkunaprasit、ソクラ皇子大学 Dr. Suchart Limkatanyu、AIT Dr. Pennung Warnitchai
- UNIBRAW - ブラウィジャワ大学 Dr. Adi Susilo、Dr. Arief Rachmansyah
- ITB - シアクラ大学 Dr. Samsul Rizal、バンドン工科大学 Dr. Hamzah Latief
- IT 戦略本部 - 小泉内閣総理大臣、慶應義塾大学環境情報学部 村井純教授

東北大学から根津までの既設 vlan を利用

### (3) JGN2 利用の概要

既存東北 2-関東 4 間の vlan3702(JB プロジェクト)をリモートサイトである東北大学、慶応大学間で利用

#### (4) イベント参加人数

- Keio University, Tokyo, Japan – Mita Campus G-Sec Lab 6F: 40 名
- Tohoku University, Sendai, Japan – Amemiya Campus (Faculty of Agriculture): 15 名
- Advanced Science and Technology Institute, Philippines: 5 名
- Asian Institute of Technology – Bangkok, Thailand: 40 名
- Institute of Technology Bandung – Bandung, Indonesia: 20 名
- Brawijaya University– Malang, Indonesia: 10 名
- Asian Youth Fellowship – Kuala Lumpur, Malaysia: 20 名
- Sam Ratulangi University, Manado, Indonesia: 数名
- Hasanuddin University, Makassar, Indonesia: 数名
- Bangladesh University of Engineering and Technology, Bangladesh: 数名
- Prince of Songkla University, Thailand: 数名
- インターネット参加: 20 名
- IT 戦略本部メンバ(小泉内閣総理大臣、棚橋 IT 担当大臣、細田内閣官房長官、麻生総務大臣、島村農林水産大臣、尾辻厚生労働大臣、経済産業副大臣、村田国家公安委員会委員長、国土交通省副大臣、内閣府副大臣 2 名、文部科学副大臣、環境大臣政務官、防衛庁長官政務官、財務大臣政務官、官房副長官 3 名、公正取引委員会委員長、村井慶応大学教授、和田 NTT 社長、宮内オリックス会長、出井ソニー会長、大蔵日本 IBM 社長、沢田横須賀市長、鈴木 IJ 社長、南場 DNA 代表取締役、関連官庁事務方約 30 名、マスコミ約 20 社)

#### (5) 実施の評価等

特に内閣総理大臣官邸からのアジアシンポジウム参加・デモに関して、小泉内閣総理大臣、その他大臣、担当官僚から、大変感銘を受けました。UDLR や DVTS その他コアテクノロジー等、日本の技術を用いたアジア各国との遠隔高精細ビデオ会議、そして基盤としての JGN2、APII の利用そして、アジアの深刻な災害に対する、日本からの積極的な技術支援の約束等、国内関係閣僚だけでなく、参加されたアジア各国の関連教授からも絶賛を受けました。

#### (6) 開催模様



各地からの映像/三田会場の模様



小泉総理登場



デモ・首相の会議参加を見守る閣僚及び官僚/各サイトの模様